

本ばこ

—新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っている则便利な図書・資料」などを取り上げます。

※データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 判型・ページ数 6 定価 7 その他

『毎日の聞きとり』シリーズの新しい教材

『中上級日本語音声教材 毎日の聞きとり plus40 上巻・下巻』

データ

1 宮城幸枝、三井昭子、牧野恵子、柴田正子、
太田淑子 2 凡人社 (〒102-0093 東京都千代田
区平河町1-3-13 菱進平河町ビル1F TEL.03-
3263-3959 FAX.03-3263-3116 URL www.
bonjinsha.com 3 上2003年4月7日 下2003年5
月23日 4 上4-89358-539-8 下4-89358-540-1
5 上B5判82ページ 下B5判84ページ 6 各2,100
円 7 各巻 別冊本文スクリプト解答例、CD付き

この教材は、初級と中級の「毎日の聞きとり50日」に続く、新しい教材です。練習問題がある本冊と、CD、音声のスクリプトと解答例がある別冊で構成されています。内容は、比較的易しいものから順番に、上巻(1課~20課)、下巻(21課~40課)の2分冊になっています。後半に比較的长度難しい問題があり、中級から上級への橋渡しを意識して作られている点、この教材の特徴です。

▽日本の文化から現代事情まで、楽しいトピックが満載

1 東証	1
2 月の初葉	5
3 前回はどんなときに聞きましたか	9
4 好きなお菓子の聞き取り	12
5 ライオンですか、ライオン	15
6 美味しいお菓子を探そう	18
7 子どもの夢	21
8 日常の生活	24
9 100円ショップ	27
10 深淵の深淵	31
11 じゃんけん	34
12 おいさつのおおきな	38
13 空からの飛行機	42
14 テンバンのアイちゃん	44
15 だるまさんがころんだ	47
16 寝かぬ、寝かぬ	50
17 どんなスポーツに参りますか	53
18 ちびっ子探検、事件ですが、事件ですか	57
19 「学生服」という言葉	61
20 動物園	64

上巻 目次
じょうかん めくじ

新聞やニュースに取り上げられた現代日本の一面を表す40のトピックが取り上げられています。練習を進めるうちに、日本の生活でよく使われている言葉や表現を学ぶことができるとともに、日本や日本人についての知識も得られます。例えば、上巻では、日本的な「風呂敷」をトピックにした課や、日本の子供の遊びに関連した「じゃんけん」「だるまさんがころんだ」などをトピックにした課があります。下巻では、現代日本事情に関連した、「結婚するなら年下?」「睡眠不足じゃありませんか」などをトピックとした課があり、新聞に掲載されたグラフやデータなどを見ながら、聞きとり練習ができるようになっていきます。

▽総合的な日本語力を高めることを目標とした「音声言語教材」

この教材は、「聞きとり」に焦点をあてて作成されたものですが、「聞きとり」を通じて、総合的な日本語力を高めることができるように工夫されています。1課は、「イラスト」「聞くまえ」「ことば」「聞きましょう」「聞いたあと」で構成されています。まず、「イラスト」でこれか

21 節電	1
22 節電からのお知らせ	4
23 季節の言葉	6
24 あなたの英語は通じますか	9
25 地震は強い	12
26 いちばん上の子は節電?	15
27 節電するから半日休む?	18
28 英語のひびき	21
29 睡眠不足じゃありませんか	24
30 お菓子のおまけ	27
31 節電するロボット	31
32 欠陥はメン様	34
33 百鬼夜行の百鬼夜行	37
34 よみがえった日本の産物	40
35 昔の日本	44
36 寝かぬ寝かぬ	48
37 空軍基地	51
38 節電の録音	54
39 節電の録音は必要ですか	58
40 動物園の動物	62

下巻 目次
げかん めくじ



ら聞く話に対するイメージをふくらませ、「聞くまえ」「ことば」で、その課で扱う話題の背景知識や関連語彙を取り上げて、聞く準備をします。そして、「聞きましょう」で、CDを聞きながら問題に答えます。I、IIの2種類の問題があり、Iは、聞きとりの方策(ストラテジー)を身につけることを目的とした練習です。IIは、内容を正確に、深く理解できるように、聞き直しながら行う練習です。「聞いたあと」には、その話題についての知識や内容を深めるための「読み物」や「一口メモ」、学習した言葉を使えるようにするための「ことばの練習」、日本語の音声的特徴をとらえ、聞くコツをつかむための「聞きとりのヒント」があります。これらをうまく組み合わせ、学習者のニーズに合った活用方法を考えたいものです。



P1



P2

楽しい教室活動のためのイラスト集
たの きょうしつ かつ どう しゅう

『みんなの日本語初級 I 導入・練習イラスト集』
にほん ご しょきゅう どうにゅう れんしゅう しゅう

データ

1 飯島ひとみ、芝薫、高本佳代子、村上ましま
み 2 スリーエーネットワーク (〒101-0064 東
京都千代田区猿楽町2-6-3 (松栄ビル) TEL.03-
3292-5751 FAX.03-3292-6195 URL www.3a
net.co.jp 3 2003年3月20日 4 4-88319-264-4
5 B5判90ページ 6 2,310円 7 別冊解説付き

本書は、「授業中に楽しい会話が生まれるき
っかけとなるイラスト」を目指し、作成された
初級用の補助教材です。

内容は、語彙と文型の「導入」、語彙と文型の
定着を目指す「練習」、発展の活動のための「応
用」、6～7課ごとに行う「復習」の4種類のイ
ラスト、計88枚と、別冊の「解説」から構成され
ています。イラストの各ページは切り離して使
えるように切り取り線が入っています。「解説」
には各イラストについて以下の項目がまとめら
れているので、本書が準拠している『みんなの
日本語初級 I』以外の教材で学習している学習
者にほんごしょきゅう いがい きょうざい がくしゅう がくしゅう

者にも利用できます。特に、簡潔で具体的な活
動例は教師の参考になるでしょう。

学習項目/学習目標:

文型や語彙/活動の目標

内容: イラストの説明
活動: イラスト使用例とその例文やモ
デル会話

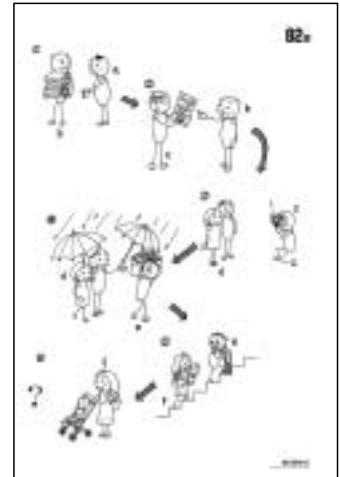
参考: 補足説明など

追加語彙: 準拠教材に加えて導入が必要な
語彙

視覚的な素材は外国語の学習でよく利用され
ますが、本書では視覚素材の可能性を生かし、
楽しく印象的なイラストで新しい語彙や文型の
理解や記憶を助けるものや、会話の展開を示し
たり、場面設定を明確にしたりするものなど、
さまざまです。「解説」で紹介されている活動も、
日常生活ですぐ役立つ場面設定のものから、日
本事情や異文化理解につながるものまで種類が
豊富です。

また、二次的な利用法としてですが、たとえ

ば、83ページは
どんな文型の導
入に使えるか等
を教師の勉強会
などで話し合う
という使い方も
できます。



P. 83

適切な待遇表現の使い方が身につく

『日本語文法演習 敬語を中心とした対人関係の表現—待遇表現—』
にほんご ぶんぽう えんしゅう けいご ちゅうしん たいじんかんけい ひょうげん たいぐうひょうげん

データ

1 小川蒼子美、前田直子 2 スリーエーネッ
トワーク (〒101-0064 東京都千代田区猿楽町
2-6-3 (松栄ビル) TEL.03-3292-5751 FAX.03-
3292-6195 URL www.3anet.co.jp 3 2003年
5月20日 4 4-88319-272-5 5 B5判102ページ
6 1,365円 7 別冊解答付き

皆さんがふだん使っている言語では、親しい
友だちと話すときと目上の人と話すときでは
言い方に違いがありますか。また、同じ相手と
話すときでも、お願いをするときとけんかをす
るときとはどうでしょうか。日本語では、話
す相手や内容によって言い方を変えるのが普通
です。この「相手、内容、場面・状況などを考
慮した表現」のことを待遇表現といいます。待
遇表現は日本語母語話者でも間違えることがあ
るので、日本語を学習する人が、「難しい、わ
からない」と思うのも無理はありません。本書
は日本語の基本的な文法は身につけている人が、
さらに発展して「相手、内容、場面・状況など
を考慮した」適切な言い方を理解するのに役立
つ問題集です。内容は敬語が中心ですが、親し
い人と話すときに使われる表現も含まれていま
すと

す。
本書の構成は大きくI. 待遇表現と敬語、II.
様々な表現と使い方、III. 待遇表現が用いら
れる場面、の3つに分かれています。I. は本書を
読み進めるのに必要な言葉や知識を確認し待
遇表現とはどんなものかを理解するための章、
II. は練習問題を解きながら文法や文型の再整
理をする章、最後のIII. は言葉の機能に注目し、
場面別に正しい待遇表現を学ぶ章になっていま
す。どの章も、〈a. ウォームアップ〉、〈b. 本
文〉、〈c. 総合
演習〉、〈d. ち
よっと一息〉と
いう流れで書か
れており、〈c.
の総合演習〉ま
で進むのが一般
的な使い方です
が、日本語の先
生や余力がある
学習者は〈b.
本文〉にある★
のついている項
目や〈d. ちよ

っと一息〉の発展
問題まで進んでく
ださい。
適切な待遇表現
を使うことは、よ
りよい人間関係を
作る助けになります。本書の学習を終えたら、
今度は実際に使ってみるといいでしょう。



P. 56



P. 57

日本語教育の枠を超えて、日本語教育を考え直す

『日本語教師のための知識本シリーズ③人間主義の日本語教育』

データ

1 岡崎 洋三、西口 光一、山田 泉 2 凡人社
おかき ようさう さいこう こういち やまだ いずみ ほんじんしゃ
(〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13 菱
とうきょうと ちよだた へいかわまち 1-3-13 びん
進平河町ビル1F TEL.03-3263-3959 FAX.03-
しんひらかわまちビル1F TEL.03-3263-3959 FAX.03-
3263-3116 URL www.bonjinsha.com 3 2003
年6月6日 4 4-89358-541-X 5 A5判314ページ
6 2,730円

この本は、自分の日本語教育への関わり方や、日本語教育のあり方に疑問を感じている人、あるいは仲間と共にもう一度教育自体について考え直したいと思う人に、大きな刺激とヒントを与える本です。

著者達は、日本語教育を「日本語運用力を高めることをめざす」ものではなく、「学習者や教師の人間性を重視しその成長をめざす」ものにとらえています。「うまく教えることが本当に良いことか?」「学習は教師が考えるような枠組みで常に進むようなものではなく、個性的なものである」という、新鮮で本質的な問いかけや提言が、実践報告や議論・提案の中に見られます。

14人の著者達は、日本のさまざまな現場で日本語教育に携わる日本語教師です。取り上げられる話題も日本国内の事情が背景となつていますが、世界各国で日本語教育に携わる人にとっても、社会や世界的情勢に日本語教育がどのように関わらなければならないかを考えるきっかけを与えてくれます。

第一部では「人間主義の日本語教育」について具体的に紹介し、学習者の個性を生かす日本語教育について述べています。

第二部から四部では、地域社会・児童生徒・留学生対象の日本語教育の実践例を紹介し、提

案を行っています。

最終章では、本通信第46号で「状況的学習論」を紹介した西口光一氏が、パフチンとオングの言語論を、新たな日本語教育を考える拠り所として紹介しています。

この本が議論の種となり、日本語教育観を根本から考え直すきっかけとなることを、著者達は意図しています。

勉強会や読書会などで取り上げるには、巻末の座談会もよい材料となるでしょう。



P.1

P.2

P.3

P.4

広い視野から言語をとらえなおしてみよう

『新世代の言語学 社会・文化・人をつなぐもの』

データ

1 飯野 公一、恩村 由香子、杉田 洋、森吉 直子 2 くらしお出版 (〒112-0002 東京都文京区小石川3-16-5 TEL.03-5684-3389 FAX.03-5684-4762 URL member.nifty.ne.jp/kurosio/ 3 2003年4月15日 4 4-87424-274-X 5 A5判248ページ 6 1,890円

これは、初めて言語学を勉強する日本の大学生を主な対象として書かれた本です。言語、ことばというものがいかに身近なものであり、さらにいかに深く社会や文化と結びついているかという点について、専門的な用語になれていない人にもわかりやすく解説されています。各章にはそこで紹介された概念についてさらに詳しく知るための参考文献一覧や、内容について考えてみるための問題がついています。

この本の特徴は、言語学の基本的な概念を、特に、社会・文化と言語との関わりに関して幅広く解説している点です。言語を形作る要素の確認から、敬語などの言語運用に関する問題、地

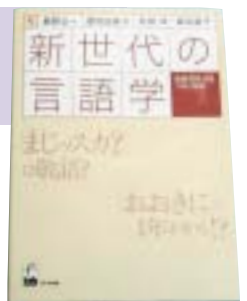
域方言や若者言葉などの社会的な問題、そして、アイデンティティやジェンダーといった人間存在や政治に関わる問題まで広く概観することができます。

単に言語学に興味のある人だけでなく広く日本語教育に携わる人にとって重要な概念にも触れています。特に、「言語運用能力」「アコモデーション理論」「バイリンガリズム」についての

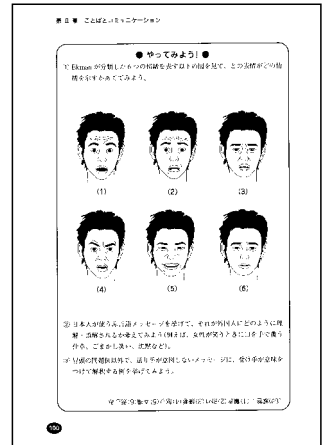
章は参考になるでしょう。また、「ら抜き言葉」などのことばの変化についても、そのような変化の原因や、それに対する様々な見方が紹介されており、ことばの変化を日に日本語教育にどう反映させるか考える上で参考になるでしょう。

各章では、実際に使われていることばの例が多数あがっています。ほとんどが、最近

の日本語の状況を非常によく伝えているので、かえって海外で読む人にはわかりにくいかもしれませんが、現在の日本でのことばのとらえ方を知るための材料になると思います。



P.197



P.100

P.18～20は以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

鳥田 徳子、木山 登茂子、押尾 和美、長坂 水晶、古川 嘉子 (執筆順)